

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成19年8月30日(2007.8.30)

【公開番号】特開2006-48791(P2006-48791A)

【公開日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-007

【出願番号】特願2004-225613(P2004-225613)

【国際特許分類】

G 11 B 5/738 (2006.01)

G 11 B 5/70 (2006.01)

【F I】

G 11 B 5/738

G 11 B 5/70

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

非磁性支持体の少なくとも一面上に、少なくとも無機粒子と結合剤とを含有する下層非磁性層と、少なくとも磁性粉末と結合剤とを含有する、膜厚100nm以下の磁性層とが重層形成された磁気記録媒体であって、

前記磁性層の膜厚をd(nm)とし、前記下層非磁性層に含有されている前記無機粒子の長軸をa(nm)としたとき、下記式(1)の関係を有することを特徴とする磁気記録媒体。

$$a \leq 3.0 \times d - 60 \dots (1)$$

【請求項2】

前記下層非磁性層に含有される無機粒子が、酸化鉄及び/又は酸化チタンであることを特徴とする請求項1に記載の磁気記録媒体。

【請求項3】

前記非磁性支持体が、ポリエチレンテレフタレートであることを特徴とする請求項1に記載の磁気記録媒体。

【請求項4】

前記非磁性支持体上に前記下層非磁性層及び前記磁性層が順次形成された後に、磁場配向処理及び乾燥処理が順次施され、その後、カレンダー処理が施されたものであることを特徴とする請求項1に記載の磁気記録媒体。